

# 学院創立120周年 に向けて

## 常務理事 川人 公一



川人理事

山桜会会員の皆様には平素より学院発展のために多大なるご支援ご協力を賜り、深く感謝致しております。

さて5年後2008年には、本学院は創立120周年を迎えます。明治21年、1888年、大阪偕行社附属小学校として創立されて以来、幾多の困難を乗り越えながら数々の栄光の歴史を積み重ねてきました。今日の隆盛は創設者高島鞆之助中将をはじめ、歴代の先賢諸氏において「社会有為の人材を育成する」という理念のもと伝統の精神をもって本学教育に懸命な努力を積み重ねてこられたおかげであります。そして戦後、学院は小学校を発祥校とし、中、高等学校、大学、幼稚園、大学院を設置するに至り総合学園として発展してまいりました。しかし今の時代は、私学をとりまく諸状況はなほだ厳しく、本学院もその渦中において大きな影響を受けております。今こそさらなる発展を目指し学院が一致団結し努力しなければならない時と考えております。そのために創立120周年記念事業を全学で取り組みその総合力を結集することになりました。「行動する追手門」をモットーに学院は各学校、園も年輪を重ね歴史の深みも増している今、あらためて120周年の年を見据え、それぞれの歴史を振り返り先哲を顕彰し一層の教育力を高める事をしなければならぬと考えます。各校園において教育改革のもと、ゆるぎない教育力の構築をなすとげ名門学院としての総合基盤を築くことを創立120周年記念事業の意義としたいと思います。

### 記念事業の推進

本年より学院挙げて準備活動に入り、推進する体制に入っております。その主旨は理事長はじめ学院長、執行部の方針にもあるように、「創立120周年は追手門の過去、現在の総力をあげて未来を描く」即ち、一大イベントとして実施し、本学院の姿を世に問う機会としたいという事です。各校園の教育改革やキャンパス整備計画をまとめ記念事業としてそれらを位置付け単なる一過性の周年事業にならず永続性の保つ周年事業とし、常に短、中、長期の観点を堅持し、

その目標を確実に実現するよう、取り組まねばならないと考えております。

120周年記念事業推進にあたり、実施するための編成は理事会総括のもと推進委員会が設置され全体計画を推進し、そのもとに全学院部局長会があり各小委員会に別れることとなります。一方新たに創立120周年記念事業事務局を設け全体の事務をつかさどり、さらに各事業計画が出揃った時点において、協賛会を結成し募金活動にも力を入れることになっております。各校園独自の計画は各校園計画小委員会、学院全体事業の計画は全体計画小委員会を設置することになっております。

### 各小委員会の活動

実動に入る準備として学院の作業部会が企画立案をしてまいりました。現在進行中の事業は幼稚園であります。「未来に向かって行動する追手門学院」のスタートにふさわしく新園舎の建設が実行されております。2003年7月着工、2004年8月竣工の予定です。園として総力あげて120周年記念事業として取り組んでいることも報告いたします。まず、幼稚園からの行動発進です。これから各校の教育計画に添った建設計画等も出される事になります。

さらに全体計画小委員会として次のような小委員会を考えています。

#### 教育構想委員会

学院創立120周年という節目にあたり全学院が今一度教育の原点に立ち返り基本理念を確認しあうとともに学院としての教育基本方針を構築、幼稚園から大学までの一貫教育についての展望計画を作成、各校園の個性の発揚、尊重する中に於て全学を貫く追手門教育のアイデンティティの確立を行う。

#### 施設建設委員会

幼稚園のスタートから各校の可能性のある建設計画の提案を実現に向かえるべく検討し推進する。各校においてはいづれも改修を含め建設計画が予測される。実施でき

得る学校から行動することになる。今後の大きな課題としてシンボルとしての建物等、大いに検討できればと考えております。

#### 募金委員会

創立120周年記念事業をするにあたり、事業内容が確定した時点で全学関係者に対しての協力をお願いする。募金については協賛会の結成により他方面からの協力も願い実績を上げ、その力をもって学院も総合力をもって記念事業を完成させる。

#### 企画広報委員会

創立120周年記念事業に対する情報の提供を密にして「広報」を発刊します。タイムリーに、又定期的、各校園、同窓会ともタイアップしつつ広く情報提供できるようにする。企画部門のひとつとしては記念講演会、記念音楽会等の開催を考える。

#### 記念誌編纂委員会

学院の現状を中心に編纂し、各校園の歴史の変遷等、教育の歩みを掲載する。百年志までは発刊されているが百十年志はない。二十年間の各校園の教育を中心として編纂する。

#### 記念式典委員会

2008年の佳き日を選び式典及び祝賀会を実施する。各界へ追手門学院の総合力と教育力の充実発展を示し存在感を知らしめるものでありたい。

他に各校園による色々な企画は独自に推進してもらい、学院としての位置づけの中、行動する追手門にふさわしいものを実現できればと考えています。

以上学院の方針として創立120周年における記念事業の実施にむけて前進しております。

山桜会会員の皆様方におかれましてはご理解賜り、今後共にご支援ご協力をお願い申し上げます。